

かつどう 部会

部会長 小林真由美(廣望会) 副部会長 三井絵美子(森と木) 栗林幸隆(はばたき)

運営委員会担当者 岸田隆 ケアマネ連絡会担当者 田中みどり 伊藤清孝

長野市障害福祉課担当者 池田匠

1 年間テーマ

生活介護事業所連絡会、地域活動支援センター連絡会にて共通の課題を共有し、情報交換を通して相互関係を築く。それぞれの事業所やサービスの在り方を深める機会とする。

2 部会等の開催状況

日時		会場	人数 (人)	部会のテーマ	主な内容
月	日				
6	28	ハーモニー桃の郷 研修室	15	地活連絡会	参加事業所よりパンフレット等を用いて 紹介や課題などを共有し、グループ ワークを行う
8	9	森と木研修室	19	生活介護事業所連絡会	「生活介護サービスに関わる報酬改定に ついて」のアンケート結果を報告し、 グループディスカッションを行う
10	3	ハーモニー桃の郷 研修室	15	地活連絡会	「他事業所さんへこれが聞きたい」を テーマにグループワークを行う
2	21	森と木研修室	14	生活介護事業所連絡会	「生活介護事業所での生産活動を考える」 をテーマに事業所紹介に合わせて報告を していただきグループワーク行う
3				まとめ	

3 機関紙、冊子、アンケート調査・行事など報告書

- ・生活介護事業所連絡会にて、「生活介護サービスの報酬改定について」を主としたアンケートを実施し、第1回全体協議会にて報告
- ・地域活動支援センターリーフレットを更新し、発行(2025年3月)

令和6年度 事業報告

4 課題について

(1)主な検討課題

<生活介護事業所連絡会>

今年度、生活介護サービスの報酬改定があり、その後の事業運営についてアンケートとグループワークを通して課題抽出を行った。また、生産活動をしている生活介護事業所の皆さんと情報交換を通してグループワークを行った。

<地域活動支援センター連絡会>

地活連絡会では、皆さんのお声としてなかなか他センターの方々と情報交換をする機会が少ないという声をお聞きしており、事業所間の交流を深めることを目的として年2回の連絡会を設けた。内容として参加された全事業所の皆さんより事業所紹介を行っていただき、情報共有や意見交換へつなげることにした。

(2)検討の目的と結果(現状)

<生活介護事業所連絡会>

目的:今年度、生活介護サービスの報酬改定があり、各事業所での影響について検討する

結果:長野市内の全事業所に標準的利用時間と事業所で抱える課題(利用時間、活動、送迎)についてアンケート調査を行い、40事業所のうち37事業所から回答を得た。集計結果を基にグループワークを行い、各事業所の共通する課題や実態を知ることができた。アンケート結果と話し合いの結果は長野市内の全事業所へメールにて報告している。

また、第1回全体協議会のシンポジウムにおいて、アンケート結果とともに「送迎」についての課題提言を行うことができた。

目的:多くの生活介護事業所が生産活動を行っているなかで、生産活動を行っていくうえでの課題、悩み等をグループワークを通して情報共有する。

結果:3つの事業所に生産活動の内容、工賃の計算方法、課題などについて全体発表していただいた内容をもとにグループワークを行った。各事業所により課題は様々で工賃向上、余暇と生産活動のバランス、本人と保護者の希望の相違などの課題があがった。

<地域活動支援センター>

目的:事業所の取組みや様子を紹介していただき、事業所間の交流を深める

結果:SNS に関してのルールが話題としてあがり、職員や利用者を対象とした発信があり困っているという現状もあったが、別の見方として引きこもりの方の支援に SNS を通じた支援ができるのではないか、との意見もあった。

職員の人材不足の問題、人件費の確保を含め補助金についての課題があがった。

令和6年度 事業報告

(3)引き続き検討が必要とされる課題

<生活介護事業所>

○送迎について“送迎中もサービス提供時間に”

送迎を行っている事業所が多い中で、事業所を出発してから各家庭を回り到着するまで、1時間～1時間半ほどかけて送迎をしている事業所が多い。

現状、送迎はサービス提供時間ではなく、加算をとり送迎をしている。車内での障害特性に配慮した関わりや、安全面を考え、運転手と添乗職員にて対応している事業所も多い中で、送迎中もサービス提供時間として、運営をしていきたい。

<地域活動支援センター>

○運営費について“物価は上がっているが運営費が変わらない”

社会情勢が変わり続け物価は上がっているが運営費が変わらないため、特に人件費への影響が大きいという意見が多数あがっている。各プログラムを行う上でも運営費、補助金の見直しが急務である。

(4)部会の運営体制について

・部会参加者の人数について、参加人数の低迷に苦慮している。部会開始時間の見直しをしたが、昼間は利用者さん対応、夕方は送迎対応ということもあり、設定時間も含めて検討が必要である。

・執行部の運営委員会出席について、イベント等のために必要なときは毎月の開催が必要であるが、そうでない時期においては毎月でなくてもよいのではないかという意見があがった。

5 総括(1年間を振り返って)

生活介護事業所連絡会、地域活動支援センター連絡会を2回ずつ開催し、地活リーフレットの更新バージョンを発行(2025年3月)することができた。

今年度も各連絡会毎にテーマを決めて開催し、活発な意見交換ができるようにしたが、参加事業所数が伸び悩んでおり、各事業所にお声掛けするときもあった。皆さん、会に出席されるとたくさんのご意見をお話くださっているので、ぜひ出席できるようなご配慮をいただきながら、今後もそのような会となるよう継続していきたい。